

ストライキ広援対策ノ件

注文

資本家本位の産業合理化政策は実行期より益々狂暴性を露呈し暴力的に押し進めて来ている。各地に鐵首工場閉鎖臨時休業後継値下不拂等々の争ギが次から次へと頻発して来ている。我が支部聯合会は刻々と尖锐化しつつある各地の争ギ広援に次の如キ方針を樹立して邁進するものであり。

一セネスト成立のため争ギ

争ギでセネストストライキに発展させるためには精神的な統一を以て企てられなくてはならない。争ギの広援を單に形式的広援に留めることは誤りである。支部聯合会は発生せる争ギで産業別的資本系統的な全地方的セネストの方向へ向けしめる方針の下に若動しなくてはならない。フルジョアジの組ミキが地方的に全国的に完成される現状に於いてはセネストへの方向への論議主体は飽年で労働組合であるが党は組合と協力して又は組合内にある一極力行ふことか必須条件である。

二この方針は支部にも亦適用される。

支部地域に発生せる争ギは地域の状況に依りて産業別的ニ資本系統的ニ全地方的ストライキに発展せしめる活動を行

の争ギである。

従来地域に起つた争ギはその果々の解決のみを關心してセネストへの方向へ運動を進めることを一たは考へられてはいるが實際に於ては行はれていない。

勿論現在組合の力の関係にも原因があるがこれは全くなくない。又今日の産業合理化政策の時期に於いては箇々の争ギのみの争ギにのみ列中してゐるのでは勝利の備はれ難い。だが労働者は争ギの主体である組合内にある争ギを勝利に導く為めは統一の有キ組織を統一の下にセネストへの発展の方針を極力止める。党は外部より組合の争ギに強力な合流が企てられるべきだ。三セネストを目標としての工代会や成立の為め争ギの成立の為めは流動的である。

工代会やば云ふまでもなく今日労働階級の最も要求せる争ギの標を前西に押しおししてこの要求を中心にして闘つべきである。即ち鐵首賃銀値下反対工場閉鎖及対峙時休業中の日給支給等々を中心として争ギを工場へ動かさなければならぬ。勿論工代会の主体はあくまで工場を中心として行はれるべきで組合と労働者の間の立場は立つべきは各々各々組合の指導下にあり争ひの争ひの争ひであることである程度まで不可能なる。